



集中ごう雨でしん水した南国市 1998.9.25 (南国市役所提供)

## 7 自然災害からくらしを守る



1998(平成10)年9月24日の集中ごう雨のため、高知市や南国市は大きなひ害を受けました。南国市では、1792(ゆか上824, ゆか下968)件の家が水につかりました。

けれども、多くのボランティアの人々のおかげで、立ち直ることができました。



あつという間に家の中に水が入ってきたそうだよ。

こうじ

てい電で真っ暗になってこわかったそうよ。

なな

ヘリコプターに乗ってひなんした人もいたそうだよ。



けん

水害のきずあと けんさんたちは、夏休み子ども教室で岡豊小学校に行ったとき、玄関にあるプレートが気になりました。

けんさんたちは、ふしぎに思いながら体育館へ行くと、そこでも同じプレートを見つけました。そこで、岡豊小学校の先生に聞いてみることにしました。

水害について、調べてみましょう。



これは、1998(平成10)年の集中ごう雨のときの水面の高さだよ。赤い線の高さまで水が来たんだよ。



先生は、そう言うと、プレートの横に立って、高さを比べてくれました。



こうじ

すごい!! 先生の背の高さよりも高い所まで水が来ていたんだ。

その後、先生は、二枚の写真を見せてくれました。



これは、  
教室の写真だよ。  
黒板のみぞの所まで  
水につかったんだよ。

つえ  
机も、荷物も、  
ぐちゃぐちゃだ。  
ゆかもどろびたしだ。  
みんなこまった  
だろうなあ。

これは、水がひいた  
数日後にとった  
運動場の写真だよ。

どろがたまって、  
びびわれている。  
元の運動場にもどすのに  
何日かかったのかなあ。

↑ 教室のようす

↓ 運動場のようす

**命を守る** けんさんたちのクラスでは、  
こう水だけでなく、地震や津波、火事など  
が起こった時、どのように身を守ればよい  
のか、考えました。

家にいたら…  
学校にいるときは…  
出かけ先では…  
どうする？

先生

わたしのうちは、  
非常用の荷物を  
用意してある  
わよ。

なな

ぼくのうちは  
避難する所を  
話し合っ  
ているよ。

こうじ



地震が起きたら 「♪チャランチャラン♪およ  
そ10秒後に地震がきます。」緊急地震速報が  
流れました。すぐに、ヘルメットをかぶり、机の下  
にもぐります。今日は、避難訓練の日です。かな  
らず起こるといわれている南海地震や津波にそ  
なえるのです。

地震がおさまったことを知らせる放送があると、  
急いで近くの津波・避難タワーに避難します。

学校では地震や津波  
にそなえて、どのよ  
うな取り組みがおこ  
なわれているのでし  
ょう。

ヘルメット  
をかぶって、  
机の下に  
もぐります。

なな



**校長先生の話**

大湊小学校は大きな地震が起  
こると、約30分で津波が到達する  
といわれています。



地震や津波にそなえ、大湊小学校では、2か  
月に1回、いろいろなパターンで避難訓練を計  
画しています。授業中、休み時間、下校の時な  
ど、いつ、だれといる時でも対応できるようにし  
たいと考えています。

また、年に1回避難訓練を、地いきの人と合  
同で行うなど、地いきぐるみでしています。

避難訓練の時には「お(おさない)・は(走らな  
い)・し(しゃべらない)・も(もどらない)・て(てす  
りを持って)」の合言葉で、速く、安全に、避難で  
きるようにしています。

また、災害発生時にそなえて、災害用伝言ダイ  
ヤルをみんなが使えるように、毎月小学校6年生  
が防災クイズを伝言ダイヤルに録音して、みん  
ながそれを聞いて答える取り組みもしています。  
自分たちの地いきを知り、地震が起こった時に、  
どこに逃げるのか、どう行動するのかを考えら  
れる子どもになってほしいと考えています。そし  
て、地いきの一員として動くことができるように  
なってほしいです。



**災害用伝言ダイヤル**

被災地の方の電話番号をも  
とにして、安全かどうかの情  
報を音声で登録・確認できる  
サービスのことです。

大きな災害が起きたときは、  
ふだん使っている連絡方法が  
使えない時があります。そん  
な時に活用できます。

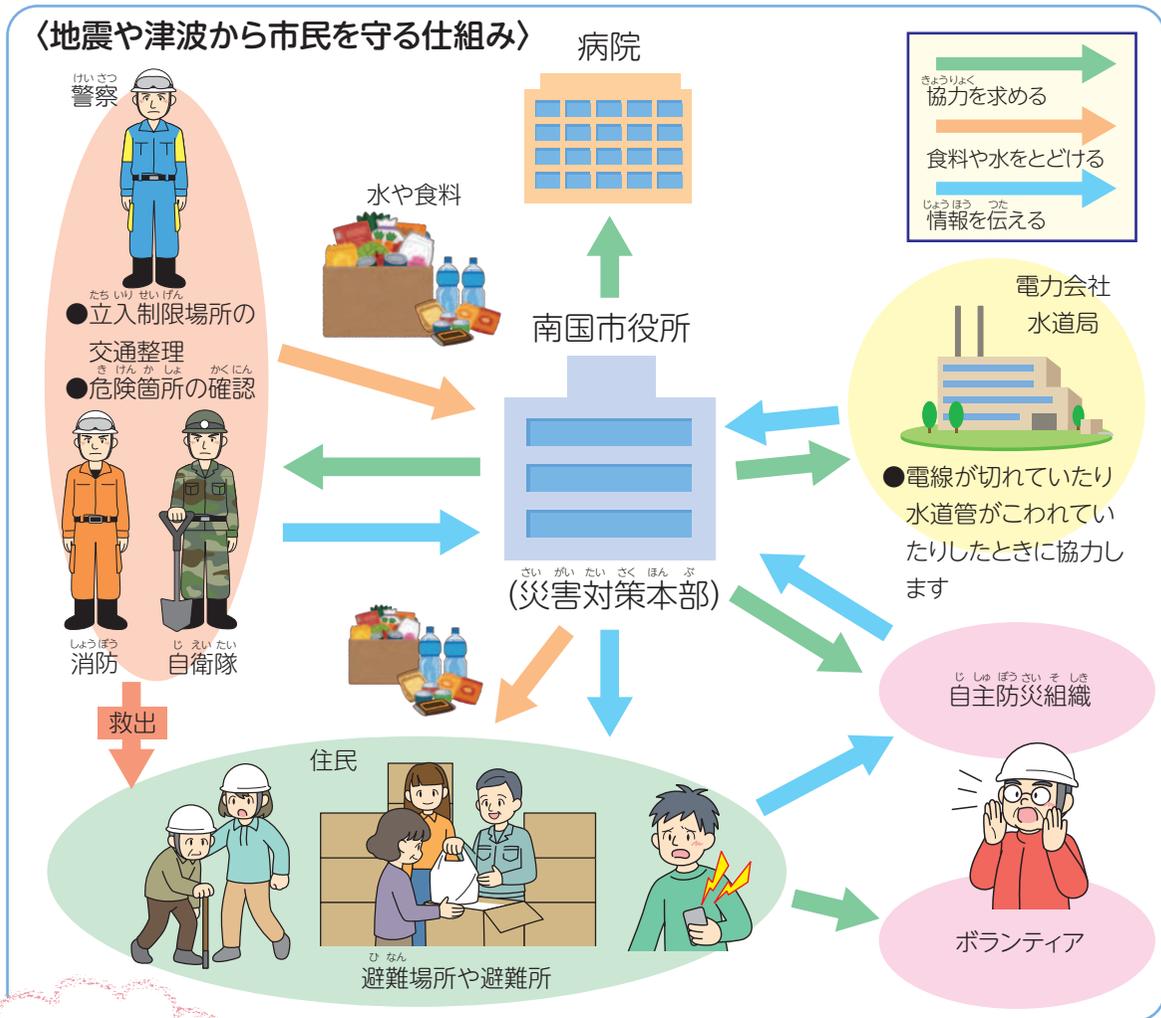
災害が起きたときに、  
無事かどうか連絡が  
とれると安心するね。

くみ



市では災害にそなえて、どのような取り組みが行われているのでしょうか。

南国市の地震・津波対策 けんさんたちは、市役所に行って、市では地震にそなえてどのような取り組みをしているのか話を聞きました。



南国市を中心にいろいろなところが助けてくれるんだね。



調べてみると、「地震や津波から市民を守るためには、南国市は自衛隊や警察などの関係機関と協力していること」が分かりました。ほかにも、どんな取り組みをしているか聞いてみました。

市役所 危機管理課の方の話



みなさんは、夕方5時になると『手のひらを太陽に』の音楽が鳴ることを知っていますか?あれは、防災行政無線がきちんと使えるかどうかをたしかめるために試験放送をしているのです。地震や津波が起きた時には、その音声放送を使って、みなさんに緊急情報をお知らせすることになります。ほかにも南国市では、みなさんの命を守るための準備(避難場所の整備や非常用食料の備蓄、水道や電気を早く修理するための準備など)を一生懸命しています。でも、地震発生その瞬間に命を守るのはみなさん一人ひとりです。また、命を守ったあとの生活のことも一人ひとり考えておく必要があります。よりよい環境で生活ができれば、せつかく守った命を失うことにつながるからです。そこで住民のみなさんが自分の身を自分で守ることができるよう、危機管理課では防災学習も行っています。さらに、地震防災マップや津波ハザードマップなども活用し、地震のゆれの大きさ、津波のやってくる所、避難場所などについて学習してほしいです。災害へのそなえとして「減災」についても考え、一人ひとりができることをしましょう。地いきの避難訓練に参加したり、各家庭で防災について話し合ったりして、いざという時に、命を守れるようそなえてほしいと思います。

減災

大きな災害が発生した場合、すべてを防ぐことは不可能だが、災害を想定して、一定のそなえをしておけば、被害を最小限に減らすことができるという考え。取り組みとして、住居の耐震化、家具類の固定、避難路の確保などがあります。



① 南国市の各家庭に配布された津波ハザードマップ



① 海に近い地いきに建てられた津波避難タワー

自分たちの地いきにも、避難できる建物がないか調べてみよう

わたしたちの地いきでは、どのようなそなえをしているのか調べましょう。

地いきで地震にそなえる けんさんたちは、3年生の時に、地いきの防災倉庫を見学したことを思い出しました。だれがどのようにして準備をしているのでしょうか。

また、5月には、地いきと学校と合同で避難訓練もしました。

地いきではどのような防災計画を立てているのかを知りたくなりました。

### 自主防災組織 前田さんの話

地いきの避難訓練は年間3回ほど計画しています。また、避難タワーの中の備蓄倉庫に何を入れたらよいか考え、購入・補充をしています。

避難タワーの備蓄倉庫のカギは、震度5以上の地震があると自動で開くようになっています。だれでも使えるようにするためです。

「地震や津波は来ない。」という人もいますが、『子どもや孫を守る』『人々の命を守る』という意識で、地いきで声をかけ合っていくことが大切だと考えています。みんな仕事をしていて、いそがしい中、自分たちの地いきを守るために訓練をしています。これからは、みなさんたち子どもが、地いきの中心となります。地いきと学校がいっしょに防災について考えていけたらと思います。



### 自主防災組織

南国市内には156の自主防災組織があります。自主防災組織は地いきの防災力向上のため、避難訓練を計画したり、備蓄品を買ったり、日々、活動しています。



備蓄倉庫の中には、かまどや発電機などがあります。どんなことに使うのか考えてみよう。

先生

地いきの人も子どもたちもいっしょに避難訓練しているんだね。

けん

自分の命を守る 家族の命を守る けんさんは南国市や地いきの取り組みをまとめ、けんさんの家では防災のためにどのような準備をしているのか、お母さんに聞いてみました。

### お母さんの話

地震が起きた時にそなえて、水や食料は保管しています。また、電気が使えないことを考えて、かい中電灯やラジオも用意しています。家具が落ちてきたら危ないので、家具の固定をしたり、体験者の話を参考にしたりしています。寝室には、まわりに高いものは置かないようにして、くつを用意しています。

家族みんながいっしょにいる時に地震が起きたらどうするか、ということは考えていますが、もしバラバラの時に地震が起きたらと考えると、心配なことも多いです。家族で話し合いをして、『自分の命は自分で守る』ために何をしなければいけないかを考えたいですね。



わたしたち自身には、どのようなそなえが必要なのだろう。



琴平神社にある石碑 (里改田)

1854年の大地震で津波があったことをしめす石碑があります。自分たちの地いきにも地震や津波の記録が残っていないか調べてみよう。



先生

### 地震が起きた時のために日ごろからそなえておくもの

非常持ち出し袋の中には……

- ・かい中電灯
- ・けいたいラジオ
- ・ビニール袋



備蓄品は……

- ・飲料水
- ・食料



### 家族防災会議で話し合ったらよいこと (例)

- 地震がおきた時の連絡方法・避難場所
- 家族がバラバラだった時の避難場所, 家族が落ち合う場所など
- いくつかの避難経路
- 
- 
- 

非常持ち出し袋には、安全に避難するために必要なものを入れておこう。備蓄品は、電気や水道、ガスが止まった時のために、少なくとも3日以上分の準備が必要だよ。どんなものが必要か考えてみよう。

